国際ロータリー第 2550 地区

黒 磯 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 会 報

国際ロータリー会長:シェカール・メータ
第 2550 地区ガバナー: 石田順一
事務所:〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15
ベルヴィ宇都宮内
TEL:028-651-2550
FAX:028-651-2551
E-mail: m2550@agate.plala.or.jp

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

会 長:荒牧明二 幹 事:安藤譲治
事務局:食健サロンるる塩梅
代表 安藤譲治
〒325-0055 那須塩原市宮町2-8
TEL:0287-73-5101・FAX:0287-73-5102
E-mail:hideki_akiba@akibacorp.com
例 会:国民の祝日を含まない週の水曜日
12:30 - 13:30
割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2951回 荒牧年度第20回例会会報（第8回オンライン例会） 2022-3-2 司会村山茂君

会長挨拶 荒牧明二会長

皆様こんにちは、コロナ禍蔓延防止等措置法が3月6日まで延長されましたので、引き続きZoomでの開催とさせて頂きました。来週からは是非対面で開催できますよう願うばかりです。

また、大きなニュースが届きました。ロシアがウクライナに侵略しました。起きてはならないことです。30年前まで同じ国でしたのに、ロシアの侵略行為は許されることではありません。早く終了することをただただ祈るばかりです。

話は変わりますが、先見力は、リーダーや責任者に不可欠な能力です。時代の流れや世の中の動きを察知するだけではない。いま関与している物事が、この先どう進展するかを予測する能力がつねに求められる。しかし、予測はとても難しい。

先見力をすり減らす要因が少なくないからです。一番の要因は、目先の利害ではないでしょうか。「金に(欲)に目がくらむ」といわれるように、経済至上主義の世の中では、正しい行為がどうであるかよりも、すぐに儲かるかどうかを優先してしまいます。成功するか否かは「長い目」で見なければ分からないのに、いつも近視眼になっています。

皆様もご存知の「わらしべ長者」という昔話をお話ししたいと思います。あるとき身近な人たちにこの話を知っていますかと尋ねたら一世代下は誰も知らなかったそうです。そもそも「わらしべ」が何かわからないということでした。

正直だが、貧乏で運に恵まれなかった男がいた。ある寺で観音様に祈ったところ「この寺を出て最初に手にした物を持って歩いていけ」と告げられました。男は寺の門を出たとたん、石につまずいて転びました。手にしたのは、たった一本の藁(わら、わらしべ)でした。

「なんだ、これか」と落胆するが、男はお告げ通り藁を手に持ち、飛んできたアブをつかまえて藁に結んで歩いていった。すると、立派な車に乗っていた子供がそれを見て欲しがります、差し出すと家来がお礼にミカンを三つくれました。ほどなく、喉の渇きにくるしんでいる女性と道端で出会います。持っていたミカンをあげると、お礼に上等な絹の布を頂きました。

男がその布を携えて歩いていると、馬が突然の病気で倒れて困っている人がいました。急いで町に出て布と馬を交換する予定だったという。男は持っていた布を渡すと、大いに喜ばれた、馬はたちまち元気になり、引いて歩いていると、引っ越しをしている家がありました。どうしても馬が必要だというので、男は馬と屋敷田畑を交換し、やがて大金持ちの長者になった。という話です。

この昔話は、1本のわらしべが次々に、別のよき物に変えられていく様子が面白いです。自由経済では金銭で表示される等価交換を原則として成り立ちますが、人生それだけではないのです。価値は人によって異なるものです。

この昔話が一番訴えたいのは、正直と優しさの徳にあります。貧しかった男は、観音様のお告げを正直に守った。困った人がいれば、見過ごさずに助けた。ミカンをすぐに食べてしまったり、カネ欲しさに絹布を直ちに売り払ったら、長者になれなかったと思います。たとえ今は窮しても、長い目で見れば、心優しい正直者はいつしか幸運を手

出席報告 ― （出席規定の免除会員数7名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU 数	修正出席率
本日 3月2日	37（7）	―（―）	―（―）	―		
前回 2月16日	37（7）	―（―）	―（―）	―	―	―

欠席の場合は前日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 （以上石山桂子）
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

に出来る。というお話です。
　かつて著名な方が、人生は生まれる前と死んだ後も含めた長い目で見なければ割に合わない、という話になった。優しさと正直の徳を失わない人は、きっとこの世で活路がひらけると。
　しかし、たとえこの世が苦難だけであったとしても、活路は来世に向けても開かれていると信じたいと思います。
　以上で会長挨拶を終わります。有難うございました。

幹事報告　安藤譲治幹事

- ガバナー事務所より、財団ニュースが届いています。藤﨑善隆ロータリー財団委員長に転送いたしました。
- ロータリー手帳の案内が届いています。後日回覧いたします。

　本日例会終了後、第１１回理事役員会を開催します。理事役員の方はそのままお残り下さい。

委員会報告　稲垣政一副会長

該当無。

卓話　田中徹会員選考/職業分類委員長（代読；安藤幹事）

　本年度「会員選考・職業分類委員会」を命じられました。
　副委員長に小野安正さん、委員に檜山達郎さん・秋間忍さんの4名での活動です。
　当委員会は会員から推薦された候補者が適当と認められた場合速やかに理事役員会に上程する。理事役員会をパスされた新入会員がクラブの職業分類合に合致するかを確認し合致する職業分類が無い場合には適宜追加する。
　尚、職業分類は「日本産業分類」に準拠する。
　これが当委員会の仕事となりますが現在、客待ちの状態でございます。
　是非とも皆様に多くの推薦を頂き仕事をさせて頂きたく切に願っております。
　以上です。

　対面での卓話であれば会報に載せない事を条件にあれやこれや話しても良いのですがZoomではそうもいきませんのでもう一つの仕事である「創立６０周年記念事業」の状況をお伝えしておきます。
　創立６０周年記念事業は本来であれば昨年「大島年度」に行われる事業でしたがコロナの影響を受け泣く泣く一年先送りとなりました。
　結果はオミクロン株に姿を変えて更に感染が拡大する事態となってしまいました。
　このような状況にあって委員会として判断に悩む毎日でしたが3月の理事役員会には報告し「開催か、中止か」のいずれかを承認して頂かなくてはなりません。
　本日Zoomでの例会後に開かれる理事役員会に上程致しましたので承認されましたらご報告いたしますので宜しくお願い致します。

3月2日
理事会決定によりオンライン例会は全員出席扱いになります。

前回2月16日分メークアップ（敬称略）
理事会決定によりオンライン例会は全員出席扱いになります。

次回例会　　令和4年3月9日　　担当　和気勝利地区委員

近隣クラブ例会日
〇火曜日　西那須野/いとう屋　0287-36-0028
〇木曜日　大田原中央/勝田屋記念会館　0287-23-4165

近隣クラブ例会日
〇木曜日　大田原/ホテル花月　0287-54-1105
〇金曜日　黒羽/ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：吉光寺政雄・鳥居輝一・高木慶一・瀧田雅仁・藤﨑善隆